



松本直美 (著)
ヤマハミュージックメディア

第2回
音楽本賞
MUSIC BOOK AWARD

『ミュージック・ヒストリオグラフィー
～どうしてこうなった？音楽の歴史～』

〔選評〕

横川理彦
(選考委員長)

「あたりまえのように流布している大作曲家や名曲の歴史を現在の視点から見直し、これからの音楽の可能性を見渡す傑作。文章が読みやすく親近感が持てる場所もすばらしい。ぜひ、広い世代の読者に薦めたい。」

小室敬幸

「もちろん体裁としては著者のひとり語りなのだが、文章から感じられるのは徹底した対話の姿勢だ。想定読者の知性と好奇心を疑わない著者と会話を積み重ねていけば、凝り固まっていた価値観は解きほぐされ、もっと自由に音楽と向き合えるようにしてもらえる。」

松平あかね

「興味深いエピソードを入り口に、音楽史を鵜呑みにしないよう促しつつ、専門知識のない人でもいつのまにか西洋音楽史を把握できるように配慮されている。ジェンダーや人種問題、音楽史の未来についても言及がある。」

毛利嘉孝

「なんとなく「変だなあ」と思っていたけどいまさら聞けない西洋音楽史の成立をめぐるさまざまな疑問を、音楽史を知らない人にもわかりやすく解説した爽快な著作。とても平易な文体なのに、ところどころ最新の歴史学の知見も盛り込まれていて、深い。クラシック音楽の聴き方が変わる。」

渡邊未帆

「「音楽史とは何か？」を丁寧に問いなおし、「西洋音楽史」を著者の視点で現代にアップデートして語りなおした挑戦的な一冊。マクロなビジョンを持ちながらも、随所に笑いを誘い出すマイクロなエピソードを挟み込んでいて、一般読者も専門家も惹き込むことと思う。まさに「音楽本大賞」的！」